

平成31年度 当初予算

一般会計 249.8億円

■ 過去最高の予算規模 (前年度比 7.0%増)

一般会計の予算総額は249億8千万円で、前年度と比べて16億4千万円の増。一般廃棄物最終処分場、北消防署、つがる地球村温泉棟などの建設事業により、過去最高の予算規模となっています。

予算の編成にあたっては、主たる財源である地方交付税が減額されていることに加え、大幅な税収は見込めない厳しい状況にあることを踏まえつつ、第2次つがる市総合計画に掲げる目指す将来像を実現するため、「人口減少対策」「農業振興」「教育の充実」を重点課題として、予算配分しています。

用語解説

歳入

■ 使用料および手数料

市の施設の使用料や住民票などを交付したときの手数料など

■ 繰入金

事業を円滑に実施するために基金や他の会計から補充するお金

■ 地方交付税

地方自治体ごとの財政運営の均衡をとるために国から交付されるお金

■ 市債

市が事業を進めるために国や銀行などから借りるお金

■ 国庫支出金

特定の目的の財源として国から交付されるお金

■ 県支出金

特定の目的の財源として県から交付されるお金

■ 地方消費税交付金

市民の皆さんが納めた消費税の一部を財源として国から交付されるお金

■ 地方譲与税

一度国税として徴収され、その後市町村に分配されるお金

歳出

■ 民生費

福祉や年金、医療、保育所運営などに使われるお金

■ 公債費

市の借入金(市債)の元金や利子の償還に使われるお金

■ 土木費

道路や住宅などの整備や除雪対策のために使われるお金

■ 衛生費

各種健(検)診や予防接種などの保健関係、ゴミやし尿の処理などに使われるお金

■ 教育費

小・中学校の運営や教育、文化、スポーツの振興などに使われるお金

■ 農林水産業費

農林水産業の振興や農道などの整備に使われるお金

■ 総務費

一般的な管理業務や財政、財産管理、徴税、選挙などに使われるお金

■ 消防費

消防、防災、災害対策などに使われるお金

■ 商工費

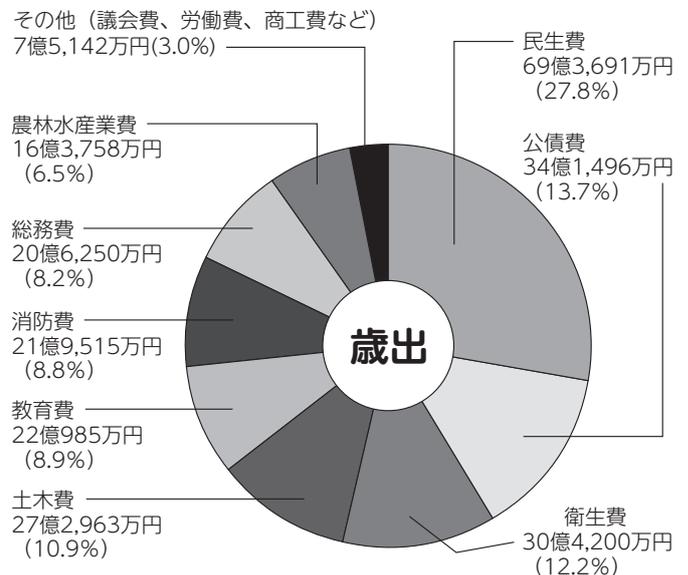
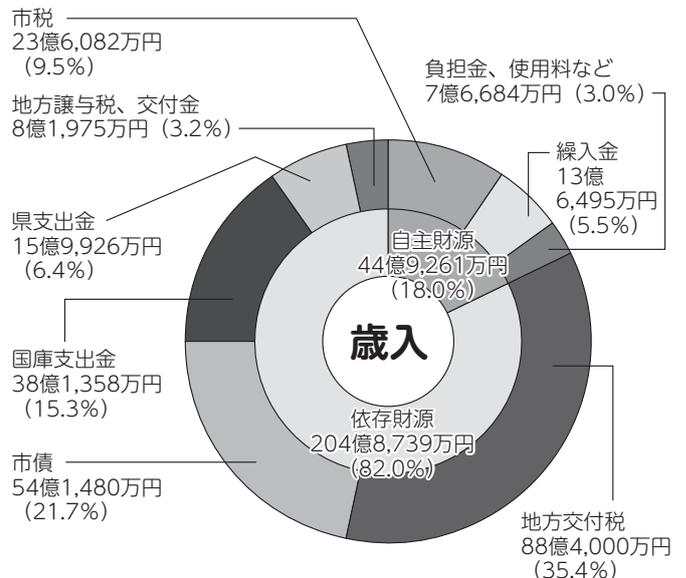
商工業や観光の振興に使われるお金

■ 議会費

市議会の運営のために使われるお金

■ 労働費

雇用の安定のために使われるお金



私たちのお金はこのように使われています (2月末の人口32,534人で計算)

市民1人当たりの予算：納めるお金 72,564円 使われるお金 767,812円

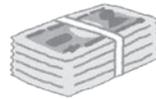
民生費 213,452円

子育て支援、
高齢者福祉など



公債費 105,190円

市債の返済



衛生費 93,673円

疾病予防、
ごみ処理など



土木費 83,692円

道路の整備、
除排雪など



教育費 68,335円

学校教育や
文化振興など



消防費 67,567円

消防、救急、
災害対策など



総務費 62,961円

地域振興、選挙、
庁舎管理など



農林水産業費
49,908円

農業や水産業
などの振興



その他 23,034円

議会費、商工費、
労働費など



市債残高の状況

平成31年度
市債返済額は **34.1億円**

平成31年度末
市債残高見込は **389.2億円**

市債とは、市の借金のことです。

建設事業には多額の資金が必要となります。それを1年分の税収などでまかなうことは難しく、また世代間負担の公平性の観点からも好ましくないため、市債を発行して、計画的に資金の調達を行うものです。

一般家庭において、自宅や車を購入する際に、ローンするのと同じことです。

一見、莫大な金額に見えますが、返済に充てるためのお金は、国が一定割合を補てんしてくれるため、市の実質的な負担は3割程度となります。

特別会計

一般会計とは別に、特定の事業における収入と支出を経理する会計です。

農業集落排水事業

予算額 6億8,672万円 (前年度比2.8%増)

公共下水道事業

予算額 8億1,783万円 (前年度比2.5%増)

国民健康保険

予算額 41億3,931万円 (前年度比11.5%減)

後期高齢者医療

予算額 7億1,879万円 (前年度比3.4%増)

介護保険

予算額 45億9,037万円 (前年度比1.2%増)